

召供御御菜八種、日別五斗宣旨

〔古今要覽器財〕行造伊勢豐受大神宮事所

可早令進濟工役夫作料米事攝津國賀島庄貳佰廿七町分、米參拾捌石伍斗玖升段別一升七合、宣旨升、右件米者朝家無雙之重事、庄々平均之課役也、早令進濟、可取進造宮所返抄之狀如件、

元亨二年八月日

右官掌紀在判 左史生中原在判 右大史安倍

〔醍醐寺雜事記九〕一執行職事

於守護口者、京人立之云々、其山手、人別米一升大升、出之、

〔外宮子良館祭奠式下〕大升量御饌米升也

内長一尺三分 廣八寸九分 深四寸九分

〔古今要覽器財〕伊勢大升

伊勢子良館にて用ゆる大升あり、御饌米をはかる料の升なり、その大き長一尺三分、廣八寸九分、深四寸九分、その積五百六十六寸九分三、今の量法六四五々を以て除き、八升七合八勺二撮八有奇をうる、是を十合とすれば、この一合今の六合九勺五撮八六八三にあたる、

〔外宮子良館祭奠式下〕十二月例

晦日 從御母良受取米如左

御饌米一日分大升二升宛以當館大升量之、一旬分二十升也、於小盡之月者、減一日分二升、下旬者、十八升取之、

〔好古小錄下〕法隆寺大斗寺ニテ太子升ト稱ス、徑方九寸五分、深三寸七分、強受、京升五升三合、

○按ズルニ、此大斗、京升ノ五升三合ヲ受クト云ヘレド、今之ヲ算勘スルニ、五升一合七勺貳才

餘下ナル

〔外宮子良館祭奠式下〕小升一合升也